

2月4日 みんなの集いin那須 2月10日 和い輪い学習フォーラム を開催しました

2月4日町文化センターで、町女性団体連絡協議会「さわやかネットワーク那須」主催のみんなの集いin那須が開催されました。

今年で14回目の開催となるもので、今回は「地域力ってなに？自分たちでできることを考えてみよう」をテーマに、協議会が1年かけて調査、研究した成果を発表しました。

防災・子育て支援・男女共同参画などのテーマに関し、地域の現状と課題やそれを解消するために自分たちになにができるかを発表し（写真右）、「一人ひとりが輝いて 子どもから高齢者までみんなで支え合い つながり力のある地域」を目指す地域像として第1部の研究発表を締めくくりました。

オープニングセレモニーではフラダンスサークルの「マイカイ」（写真中央）と、「マイカイクプナ」の皆さんが美しいフラダンスで会場を魅了したほか、第2部では栃木県警察音楽隊の演奏会が開催されました。警察カントリーガードによる華麗なフラッグ演技が音楽隊の演奏を盛り上げ（写真左）、また、演奏の合間に行われる犯罪防止や交通事故防止の講演はユーモアも交えて分かりやすく、会場からは拍手と笑いが起こりました。

女性として、地域の一員として町の発展のためにできることを考えるよい機会となりました。



2月10日町文化センターで町教育委員会と町PTA連絡協議会共催の和い輪い学習フォーラムが開催されました。

第1部は事例発表が行われ、高久小児童から「高久地区の歴史と本郷八木節」（写真右）、東陽小児童から「夢について考える」というテーマで発表があったほか、那須中と那須中央中の生徒会役員が会津美里町中学生との交流についてサミット形式で話し合いました。また、幸福の科学学園高校からは「町の魅力を世界に広げるためには」、「町の夢色未来創造プロジェクト」の2つの発表、那須高校からは町との交流事業の事例発表が行われ、町内の児童生徒が町の歴史や未来、そこから自分たちが学んだことを力強く表現してくれました。

第2部では教員や保護者、地域住民による「熟議」が行われ、「町の子どもたちにどう育ってほしいか」をテーマに熱い議論を交わしました。町の中学3年生が10年後の25歳になった時にどんな大人になってほしいかをイメージし、各分野の関係者から多様な意見が聞かれました。（写真中央）

また、会場入口では各校の展示のほか、黒田原小児童が地元事業者と共同で考案したクッキーやパンの販売が行われ（写真左）これらは開始早々に完売し大盛況でした。

